

新規事業採択時評価結果（令和5年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：長谷川 朋弘

事業の概要

事業名	一般国道256号 堀越峠道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：岐阜県郡上市八幡町初納 至：岐阜県郡上市八幡町入間	延長	5.9 km		
事業概要					
濃飛横断自動車道は、岐阜県郡上市から岐阜県中津川市に至る延長約80 kmの地域高規格道路である。このうち、堀越峠道路は、郡上市八幡町初納から郡上市八幡町入間に至る5.9 kmの道路事業である。					
事業の目的、必要性					
当事業の整備により、東海北陸自動車道、国道41号からなる南北軸のダブルネットワークの代替性を補完する東西軸強化、地域の暮らしを支える信頼性の高い道路の確保、リニア中央新幹線の観光活性化効果を広域に波及するためのアクセス強化を目的とする。					
全体事業費	約390億円	計画交通量	約4,000台/日		
事業概要図					

事業評価結果

費用便益分析	B/C	1.4 (0.7)	総費用	1,371億円	総便益	1,897億円	基準年	令和4年
			事業費：1,288億円 維持管理費：55億円 更新費：28億円		走行時間短縮便益：1,772億円 走行経費減少便益：118億円 交通事故減少便益：6.2億円			
	感度分析の結果		交通量変動	B/C=1.2 (交通量 -10%)		B/C=1.5 (交通量 +10%)		
		事業費変動	B/C=1.3 (事業費 +10%)		B/C=1.5 (事業費 -10%)			
		事業期間変動	B/C=1.3 (事業期間 +20%)		B/C=1.4 (事業期間 -20%)			
事業の影響	評価項目		評価	根拠				
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	-	・注目すべき影響はない。				
		事故対策	◎	・現道の線形不良箇所の回避により、事故減少に寄与。 [国道256号(郡上市街地～和良地区)の線形不良箇所] 現況：24箇所 ⇒ 整備後：0箇所				
		歩行空間	-	・注目すべき影響はない。				
	社会全体への影響	住民生活	◎	・通行リスクの高い国道256号堀越峠区間を回避するルートが構築され、山間地域の暮らしを支える信頼性の高い道路を確保。 [国道256号(郡上市街地～和良地区)の事前通行規制区間] 現況：1区間 ⇒ 整備後：0区間				
		地域経済	-	・注目すべき影響はない。				
		災害	◎	・ダブルネットワークの代替性を補完する東西軸の強化により、災害等による国道41号通行規制時の下呂市と高山市間の所要時間が短縮。 [下呂市～高山市間の迂回所要時間] 現況：135分 ⇒ 整備後：123分(約12分短縮)				
環境		-	・注目すべき影響はない。					
地域社会	◎	・リニア中央新幹線の開業を見据え、観光名所である郡上市・下呂市・中津川市間のアクセスを強化することで地域観光を支援。 [中津川市～郡上市の所要時間] 現況：約125分 ⇒ 整備後：約109分(約16分短縮)						
事業実施環境		○	・都市計画手続き完了 (R3.3) ・濃飛横断自動車道事業促進期成同盟会・濃飛横断自動車道建設促進議員連盟・岐阜県より早期事業化を要望。					

関係する地方公共団体等の意見

【岐阜県知事】
現道の一般国道256号における最大の難所である堀越峠は、幅員が狭く、つづら折りの険しい山道であることに加え、雨量による事前通行規制区間であるなど多くの課題を有しています。このため、本県では堀越峠を迂回するルートの整備を検討してまいりましたが、計画した迂回ルートには、地すべり面、断層破砕帯、高い地下水位、空洞という4つのリスクが複合的に潜在しており、トンネルを施工するには高度な技術力が必要とされます。ついては、本自動車道の重要性及び整備における困難度を鑑み、国の権限代行事業による整備をお願いいたします。

本県としましては、当該区間の事業推進にあたり、残土受け入れ地の確保や郡上市と連携した地元調整、用地取得への最大限の協力、直轄道路事業に必要な予算の確保等、全面的な事業協力を行います。さらには、整備効果を一層向上させるための連携事業として、令和5年度より隣接する和良工区の新規事業化を進めるとともに、本自動車道の残る区間についても、県での事業化を前提に早期全線開通に向けた計画的な調査に努めてまいります。

学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件

・費用対便益：便益が費用を上回っている。
・手続きの完了：都市計画手続き完了 (R3.3)

採択の理由

費用便益比が一体評価で1.4と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。また、ダブルネットワークの代替性を補完する東西軸強化、地域の暮らしを支える信頼性の高い道路の確保、リニア中央新幹線の観光活性化効果を広域に波及するためのアクセス強化等に寄与することから、事業の必要性・効果は高いと判断できる。以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を、割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの
※B/Cの上段の値は郡上～中津川を対象とした場合、下段()書きの値は事業化区間を対象にした場合の費用便益分析結果

新規事業採択時評価結果（令和5年度新規事業化箇所）

事業評価結果（防災機能）

事業の必要性		
濃飛横断自動車道整備により、東海北陸自動車道、国道41号からなるダブルネットワークの代替性を補完する東西軸強化、地域の暮らしを支える信頼性の高い道路の確保に寄与するものである。		
評価項目	地域の課題	関連する計画
住民生活	<ul style="list-style-type: none"> ・国道256号堀越峠区間は雨量規制区間、線形不良、大雪時のスタック等通行リスクの高い路線である。 ・郡上市和良地区から郡上市街地への交通は、堀越峠の通行止めにより地域が孤立するため、日常生活に支障が発生。（堀越峠の通行止め回数：年平均約8回（H25～R3）） 	<ul style="list-style-type: none"> ※第2期岐阜県強靱化計画（R2.3） ・県土の8割を山地が占める本県の地形的特性上、孤立予想集落が多く存在しており、大規模災害により集落の孤立が多発した場合には、長期間にわたり孤立状態が続くことが懸念されるため、道路整備等による孤立集落対策及び緊急輸送道路や孤立のおそれのある集落に通じる道路沿いの民有地樹木の伐採を引き続き推進。 ・県土の8割を山地が占める地形的特性上、本県においては、人・物の移動・輸送手段を車に大きく依存しており、地域を繋ぐ道路ネットワークの確保が非常に重要であるため、歩道整備や防護柵設置といった交通安全対策を含め、道路ネットワークの着実な整備が必要である。
災害	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨地域と中濃地域を結ぶ南北軸は、東海北陸自動車道と国道41号のダブルネットワークが確保されているが、東西軸が脆弱。 ・山間部を通る国道41号は、飛騨川の並走や雨量規制区間を有する等、災害リスクが高く通行止めが頻繁に発生。 	<ul style="list-style-type: none"> ※第2期岐阜県強靱化計画（R2.3） ・広域かつ大規模な災害の際に道路インフラの被災により医療施設や広域防災拠点、県庁、市町村役場等へ到達できず、救助・救急活動や災害対応に支障が生じる事態を回避するため、引き続き緊急輸送道路ネットワーク上の道路整備、橋梁耐震対策及び斜面対策等の整備を着実に進めていく。 ・災害発生後においても地域社会・経済が迅速に再建・回復できるよう、各地域の復旧・復興に必要な道路として、主要な骨格幹線道路ネットワークの整備や緊急輸送道路ネットワークを確保する。
救助活動等	<ul style="list-style-type: none"> ・郡上市和良地区における救急救命医療が必要な患者は郡上市中心部の郡上市市民病院等へ搬送されており、重症以上の患者の搬送件数は年間平均13人（H30～R3）。 ・搬送の際には、つづら折れで険しい山道である国道256号堀越峠区間を通行する必要があるため、速達性が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ※第2期地域医療を守り育てる郡上市ビジョン（H29.3） ・郡上地域については郡上市市民病院が急性期医療の中心的な役割を担い、状況に応じて中濃厚生病院も担うとし、特定の診療分野や政策医療分野で貢献している病院、地理的に急性期を要する病院として鷺見病院も状況に応じて急性期医療を担い、上記以外は回復期中心にシフトする。
その他		

事業の有効性									
<ul style="list-style-type: none"> ・当該事業の実施により、主要拠点間のリンクの評価がDランク→Bランクに改善するとともに、災害時の不通リンクの解消により、ネットワーク全体の防災機能が強化される。 ・また、東海北陸自動車道、国道41号からなる南北軸のダブルネットワークの代替性を補完する東西軸が強化されるなど、有効性の高い事業と評価する。 									
道路ネットワークの 防災機能	主な区間		改善 ペア数	脆弱度 (防災機能ランク)		累積脆弱度 の変化量	改善度		評価
				整備前	整備後		通常時	災害時	
	岐阜県庁	下呂市	9 (9)	1.00 [D]	0.28 [B]	▲147.57 (▲94.34)	0.09 (0.03)	1.00 (1.00)	◎

事業の効率性
<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画手続き完了（R3.3）

※道路ネットワークの防災機能の上段の値は郡上～中津川を対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象にした場合の防災機能評価結果